



Power BI

Power BI のスムーズな導入で社内のデータを最大活用！

BIツール導入を失敗させない 7つの事前準備とは？

はじめに

社内データを活用することは、いまや経営に欠かすことはできません。そこで、BIツールを導入することは非常に有効です。

しかし、製品の理解や事前準備が不十分のままBIツールを導入してしまうと、効果をなかなか実感できないといった失敗につながる可能性があります。

そこで、よくある失敗ケースを紹介しながら、Power BI 導入前に確認すべき重要な7つのポイントを解説します。

これを押さえることで、社員一人ひとりが Power BI を最大限活用し、事業成長へつながるデータドリブンな意思決定を促す環境が整います。

Power BI の導入をスムーズに進めるためのガイドとして本資料をご活用ください。

CONTENTS

データが共有されない、分析できない問題	2
データ集計・分析は Excel で十分か？	3
Power BI 導入のすすめ	4
これからのデータ分析はBIツールが担う	5
BIツール導入をスムーズにする7つの事前準備	
BIツール導入で現場の課題を一気に解消のはずが	7
1.目的が明確になっているか？	8
2.優先順位をつけているか？	9
3.運用フローをあらかじめ検討しているか？	10
4.データソースが適切か？	11
5.導入によってデータ分析のスピードが上がるか？	12
6.社内教育、フォローは十分に行えるか？	13
7.導入効果のKPIを設定しているか？	14
Power BI 導入／運用の課題を解決するテクバンのサービス	
Power BI 導入支援サービス	16
トレーニングサービス	17
テクニカルサポート	18
セルフBI 自走に向けて	19

データ集計・分析はExcel で十分か？

Excel のメリットと限界

データ集計や分析をするためのツールとして、Excel はビジネス現場で広く使用されています。Excel のメリットはビジネスソフトウェアとして普及していて手軽に使えるほか、さまざまな関数やツールが標準装備されていること、多様なデータ集計やグラフ作成などができることでしょう。

しかし、Excel は複雑なデータ分析や膨大な量のデータ集計には向いていません。このような処理を Excel で行う場合、処理速度が遅くなる、場合によってはファイルが破損してしまうリスクがあります。

また、大量のデータ処理を行う場合、データ元との整合性が担保されているか、データ更新や修正が正しく行われているかなど、検証の手間が必要になるケースがあります。

さらに、複数のユーザーが同時に編集するケースでは、ファイルの共有やバージョン管理の面で問題が発生しがちです。

これからのデータ分析はBIツール・Power BI が担う

Power BI の4つのポイント

企業におけるデータ活用の課題や Excel の限界を解消するリソースとして、脚光を浴びているのがBIツールです。これからのビジネス戦略に欠かせない、データドリブンな意思決定を可能にするツールといえます。いくつかあるBIツールの中でも、Power BI は次の4つの点でメリットがあります。

1

Microsoft
アカウントです
ぐに導入できる

2

多様なデータ
形式に対応

3

視覚化された
レポート出力
が容易

4

レポートの共有、
自動更新が可能